

## スラブキラー

NETIS登録番号: KT-210052-A

## 株式会社ニチワ

〒151-0062 東京都渋谷区代々木町31-1 ニチワビル

TEL 03-3469-3601 FAX 03-3469-6881

URL <http://www.nichiwa-rent.co.jp>

mail [tokyo@nichiwa-rent.co.jp](mailto:tokyo@nichiwa-rent.co.jp)

〔拠点〕 東日本統括本部 TEL.047-433-8361  
西日本統括本部 TEL.052-612-1251



現場切断施工の状況



試験施工の様子



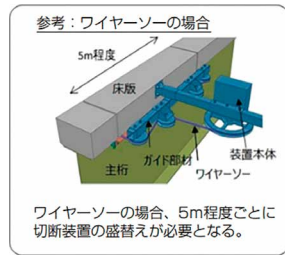
コンクリート床版/馬蹄ジベル  
切断後の状況

### 概要

スラブキラーは、バンドソーを用いて既設橋梁のコンクリート床版や横ずれ防止金具を主桁上で同時に水平切断する、自走式の切断機である。

従来は主にワイヤーソーイングで対応していたが、本技術の活用により、切断速度が向上し、省力化が可能となるため、経済性の向上と工期の短縮を図ることができる。

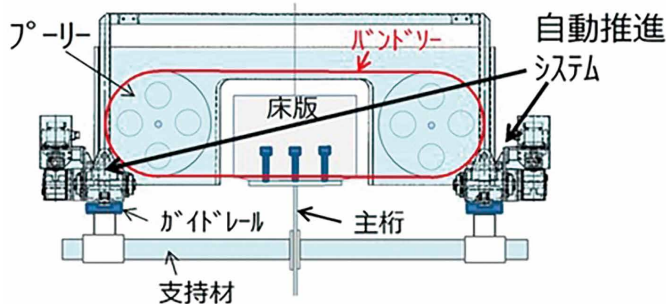
橋梁解体工事や、劣化損傷したコンクリート床版張替工事に対してその効果を発揮する。



### 特長

#### ●新規性

1. ワイヤーソーからバンドソーを用いた自走式の自動切断装置に変えた。
2. ワイヤーソーが露出している構造からバンドソーを切断装置本体に納めた構造に変えた。
3. 厚いワイヤーソーから薄いバンドソーに変えた。
4. 円形のワイヤーソーから帯状のバンドソーに変えた。



#### ●期待される効果

1. バンドソーを用いた自走式の自動切断装置に変えたことにより、切断速度が向上するため、工程の短縮が図れる。

2. バンドソーを用いた自走式の自動切断装置に変えたことにより、切断時の操作が容易となり、省人化が可能となるため、経済性と施工性の向上が図れる。
3. バンドソーを切断装置本体に納めた構造に変えたことにより、防護設備が不要となるため、施工性の向上が図れる。
4. 薄いバンドソーに変えたことにより、切断時に生じる粉塵が減少するため、周辺環境への影響抑制が図れる。

#### ●技術のアピールポイント

従来工法は、切断時に人手と時間を要し、ワイヤーが破断するリスクに備え防護設備が必要という課題があった。本技術では、切断速度が向上し、省人化が可能となり、また、防護設備が不要となるため、経済性と安全性の向上と工程の短縮が図れる。



コンクリート床版/スタッド切断後の状況

### 適用条件

#### 1. 自然条件

降雨、降雪、強風時には使用しない。

#### 2. 現場条件

- ・装置の幅は約2.5mあることから、主桁ウェブ芯の主桁間隔が約1.3m以上は必要となる。
- ・電源 (200V) が必要となる。供給電源がない場合には発動電源機 (200V 3相 10KVA) が必要となる。

#### 3. 技術提供可能地域

技術提供可能地域に制限はなし。

### 適用範囲

#### 1. 適用可能な範囲

撤去する主桁上コンクリート床版幅550mm以下。  
ハンチを含む床版厚400mm以下。

#### 2. 特に効果の高い適用範囲

コンクリート床版を有する合成桁橋。